

# Web 作成

---

Web 作成のトレーニングへようこそ。Tableau Server か Tableau Online を利用できる場合は、ビデオの下にあるワークブックやデータソースをパブリッシュして、実際に操作してみてください。

Tableau Server と Tableau Online には Web 作成機能が用意されており、オンになっていればユーザーは利用することができます。この強力な機能を使うと、ブラウザやモバイルアプリでコンテンツを利用するユーザーは、パブリッシュされたワークブックの変更、パブリッシュされたデータソースへの接続、新しいワークブックの作成を行えるようになります。

## Web 作成

パブリッシュされたワークブックで Web 作成機能がオンになっており、エンドユーザーが適切なパーミッションを持っている場合、パブリッシュされたコンテンツに鉛筆の編集アイコンが表示されます。表示されるのはワークブック全体の場合も、一部のコンテンツの場合もあります。

[編集] をクリックすると、Web 編集の画面が表示されます。使い方は Tableau Desktop ととてもよく似ています。たとえば [売上] をビューに追加する場合は、そのフィールドを目的のシェルフにドラッグするだけです。また、新しいシートを作成して、同じデータを違う形で見することもできます。シートを右クリックして [複製] を選択し、[表示形式] で棒グラフに変えてみましょう。ビューはもちろん編集できます。では、新しい計算を作成してみましょう。[分析] メニューの [計算フィールドの作成] を選択します。「割引されているか?」と名前を付けて、「IF [割引率] > 0 THEN 「割引済み」 ELSE 「割引なし」 END」と入力します。そして、このフィールドを [色] にドラッグします。さらに、Tableau Desktop と同じように、複数のシートをダッシュボードにまとめることもできます。

## 保存

パブリッシュの適切な権限があれば、[名前を付けて保存] を使って、作成したものを新しいワークブックとして保存することができます。また、[保存] を使えば元のワークブックに上書きして保存できますが、これにも適切なパーミッションが必要です。なお、保存しても、計算をはじめとするメタデータへの変更はデータソースに反映されません。そのような変更は、元のデータソースで行ってパブリッシュし直す必要があります。

## パブリッシュ済みデータソースの使用

Tableau Server や Tableau Online で新しいワークブックを作成するには、パブリッシュされたデータソースのセクションを開きます。なお、Tableau Server や Tableau Online のデータソースは、Tableau Desktop からパブリッシュする必要があります。ここでは、「Global Superstore 2016」をお気に入りに入りにしています。データソースが多い場合でも見つけやすくなるためです。[新しいワークブック] アイコンをクリックすると、直接ブラウザで新しいワークブックを作成できます。すでにあるデータソースでは不十分な場合でも、パブリッシュされた別のデータソースを追加してブレンドすることができます。

## 最後に

Web 作成のトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。Tableau の使用方法について、引き続き無料のトレーニングビデオをご覧ください。